



ひぐ^{みつ}ち^{ふゆ}光冬

通信
Vol. 17

“議会デビュー”をしました!



6月11日から正式に西宮市議会議員としての任期が始まった私ですが、「6月議会」において初めての一般質問を行いました。(注:西宮市議会は、6月・9月・12月・3月の年4回議会を開催しています。1回の議会期間は約1ヵ月間で、その間に各議員が一般質問を行ったり、市から出される条例案等について議論を行ったりします)

今回私は、①西宮浜の小中一貫校について、②香櫨園駅前の喫煙問題について、③西宮浜をつなぐ跳ね橋について、一般質問をしました。それぞれについて詳しく紹介していきたいと思います。

1. 西宮浜の小中一貫校について

この通信で何度か取り上げ、また7月10日付の市政ニュースの一面でも紹介されたのでご存知の方もおられるかもしれませんが、来年4月から、現存の西宮浜小学校と西宮浜中学校を“1つに統合”し、1年生～9年生までの“小中一貫校”が開校する予定です。

西宮浜の小中学校はもともと隣り合わせで連携もよくしてきているので、一貫校になっても特に問題はないのではないかと感じるのですが、実はそうではありません。ここには多くの問題が潜んでいるのです。

たとえば小中一貫校になることによって何がかわるのか?大きく4点あります。

まず小中一貫校になれば、これまでの6-3制(小学校6年、中学校3年という分け方)から“4-3-2制”という区分に変わります。そしてそれに伴い、4年生までが小学校校舎で過ごし、5年生からは中学校校舎で過ごすこととなります。そして教師は小学生から中学生まで分け隔てなく教えることになり、また、小学校校舎内に総合教育センターという研究機関が設置され、教育活動の研究・観察が四六時中行われます。(裏面に続く)



<小中一貫校になって変わる事>

1. 4-3-2 制になる
2. 5年生から中学校校舎へ
3. 教師が小中両方教えることに
4. 総合教育センター(研究機関)が小学校校舎内に設置される

(表面からの続き) さて、これらの変化の何が問題なのか？まず、“4-3-2 制”になれば、当然これまで6-3 制が当たり前だった子どもたちや保護者、教師は戸惑います。しかも“4-3-2 制”にする予定でありながら、「6 年生の終了時に、これまでの卒業式に相当する式を行う」や「7 年生（現中1）から制服を着る」といったこれまでの6-3 制を踏襲した計画も出されています。これでは**当事者を混乱させるだけだ**と思いませんか？

また、小学校は45 分授業、中学校は50 分授業です。5 年生から中学校校舎に移れば、5,6 年生を50 分授業にすることになり、そうなるとなんと**年間で100 時間も授業時間が増える**ことになるのです。それはよいことなのでしょうか？

そして、教師が小学生から中学生まで教えることになれば、担当する授業数が増え、教材研究をしなければならぬ幅も増えるので、“**多忙化**”することが予想されます（実際過去の研究で、小中一貫校になれば教師が多忙化すると指摘されています）。

さらに、総合教育センターが学校内に配置されることになれば、“**指導主事**”という研究者であり教師を指導する立場の人が常駐することになります。そうなったら**当然教師は委縮してしまう**と思いませんか？そして教師が委縮すれば、**その影響が子どもたちにも及ぶ**に違いありません。これでよいのでしょうか？

これらの4 点について質問をし、改善を求めました。市（教育委員会）とのやりとりは以下のようでした。

＜小中一貫校の質問と市からの回答、そして主張＞

Q. 6-3 制を踏襲しながら、4-3-2 制を導入しようとしている。混乱を招くだけではないか？

⇒A. 発達段階に応じた指導上の括りであって、混乱をもたらすものとは考えていない。

《**意味がわからない！余計な混乱をさせないためにも6-3 制を維持すべき！**》

Q. 5,6 年生の授業時間が年間で100 時間も増えるが、それはよいのか？

⇒A. 最終的には学校が決めることだが、教育委員会としても指導していきたい。

《**4-3-2 制を導入し、5,6 年生を中学校校舎に移すからこのような問題が起きる。この点からも4-3-2 制はやめるべき！**》

Q. 教師が多忙化すると思われるが、何か対策は考えているのか？

⇒A. 現小中学校の全教員で助け合うことができるので、多忙化にはならない。

《**先行研究で多忙化すると言われているのに、それは嘘だ！検証すべき！**》

Q. 総合教育センターを何のために校内に設置するのか？

⇒A. 外国語教育やプログラミング教育などの最先端教育を取り入れ研究し、市内の他の学校に広げていくため。

《**研究するのはよいが、学校の主目的は教育である。研究を主目的にすべきじゃない！**》

市（教育委員会）はこれらの問題を深く検証することなく、来年4 月の開校ありきで話を進めようとしています。しかしあくまでもこの学校の主人公は子どもたちです。子どもたちへの影響をしっかりと考えずに強引に計画を進めていくのは間違っているのではないかと私は考えています。

まだまだ追及が不十分ですが、今回の質問を通じて「**小中一貫校の問題点**」を市民の皆様にご覧いただければ幸いです。（※ 質問の全容は「**西宮市議会ホームページ**」からご覧いただけます）

【他の質問、「香櫨園駅前の喫煙問題」と「西宮浜をつなぐ跳ね橋問題」は次号の通信で！】